

周知啓発活動報告書

事務局が会場準備等を行い、地域の推進員が共同で周知啓発活動を行った場合は、活動に参加した推進員1名が代表で報告することができます。

	整理番号	
所属協議会	福岡県	氏名 (推進員の証 No.)
		佐々木正文 (No. 40018)
		(報告年月日) 平成28年12月16日
活 動 内 容		
日 時	平成 28 年 12 月 16 日 (金) 13:00~16:00	
場 所	福岡県糸島市前原南1-17-1 糸島市立前原南小学校	
規 模	小学3年生 106名および担任教諭など10名	
内 容	<p>(共同活動において代表で報告を行う場合は、この欄の下段に他の推進員の氏名と推進員の証No.を記載して下さい。)</p> <p>平成28年12月16日(金)福岡県糸島市立前原南小学校(馬場校長)において106名の児童を対象にした電波教室を開催しました。事務局の指導により、学校長から九州総合通信局長宛に要請文書を提出し、九州初の大規模な電波教室が実現しました。当日は日高主幹教諭の司会で、学校長から分かりやすい理科学習の説明、九州総合通信局環境課川平監視官挨拶、推進員紹介の後、「楽しい電波教室」DVDを上映し、電波のいろいろな使われ方やルールを勉強させ、つづいて高田推進員制作の「はんだづけのごくい」というスライドでやけど等の事故がないように喚起し、各推進員は児童の手を取ってKIT16jr電池BOX2箇所のハンザ付けをさせました。児童は生まれて初めての半田付け経験で金属が熱で溶けること、電池にプラスとマイナスがあることを学びました。実施した講堂が鉄筋構造で受信状況が悪く、鳴らないというラジオが続出して推進員は対応に苦労しました。</p> <p>小学校は学習時間が厳格に守られおり延長が許されないこと、事故を絶対起こさせてはならないこと、予備の教材は十分に用意することなど推進員自身もよい経験をしました。</p> <p>協同推進員：40005水尾長文、40012百崎節男、40019高田 光、40025廣田 實、40026宇都耕一、40027林 道夫、40029原田國廣、40030波多勝博(敬称略)</p>	
配 布 物 (内容・枚数)		
印刷物	ポスター1枚	
その他	KIT16jr ICラジオ106台、絆創膏106個、ティッシュ106個	
提 携 先		
所 属 相手先	(一般社団法人) 日本アマチュア無線連盟福岡県支部	

講 評	(成果) 学校長の要請により、九州総合通信局および九州電波適正利用推進員協議会事務局長の協力で小学3年生106名全員に電波教室を学習させることができました。実施までには糸島市中田ボランティアセンター長、馬場校長、稲月教頭、日高主幹教諭、3学年担当各教諭のご理解と協力がありました。
	(反省点) 対象人数が多勢で推進員の動員が困難でした。 事前に鉄筋講堂内で受信テストをすべきでした。 KIT16jrイヤホンが壊れやすく事前準備に不手際がありました。

(注) 整理番号記入欄 (電波適正利用推進員は記入しないで下さい。)



前原南小児童が ラジオ作り体験

糸島市

電波について学ぶ教室が16日、糸島市の前原南小で開かれ、3年生106人がラジオ作りなどを通じて楽しく学んだ。

電波に関する啓発活動を行う県電波適正利用推進員協議会が主催。テレビや電話、電子レンジなど、電波が身の回りで広く使われていることや、周波数で使い分けがなされていることなどをビデオで学習した。

糸島市在住の佐々木正文さん(75)ら10人の指導員の手ほどきで、はんだ付けしてラジオキットを組み立てる作業も体験し写真。児童はイヤホンを耳に当て、流れてくる音声に大はしゃぎしていた。

